

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和5年3月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	→改善内容・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	4		・机上での活動スペースと運動が出来るプレイルームの部屋を分け、それぞれが活動を行えるよう空間の確保を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか		6	2	・児童の安全面を一番に留意しているが、充実した支援を目指すには、職員不足を感じてしまう。 ・個々に課題や製作に取り組む場面では職員が足りないと感じることもあるが、時間差で取り組むことで補っている。 ・各学校送迎に関しては、オアシス職員だけでは送迎車の確保を十分に取ることが難しいため、本部元である療護園の協力がなければ運営が困難な状況である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	1	・平屋建てのため、車椅子や歩行器を利用している児童でも問題なく利用することができる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	4		・目標管理制度を導入し、各職員が目標を持って業務に努めている。 ・職員間での情報共有や支援の振り返りを行うことで業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2		・法人ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4		・令和3年度に内部監査実施。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	3		・正規職員は、外部研修への参加を行っている。パート職員は、毎月行う会議等を通して講義の機会を設け、支援の質の向上に努めている。 ・毎月行う会議の際に、グループワークや簡単な講義を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	6		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		・同じ活動ばかりにならないよう新しい活動を取り入れて支援を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・机上での個別活動（自立課題、ワークシート）と集団活動（ミュージックケア）を主として、その他活動を計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2		・当日振り返りが出来ない場合でも、職員間で情報共有できるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・毎日、利用された児童一人ひとりの支援記録をとっている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	8			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		・正規職員が主に参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）	5	3		

	を適切に行っているか				
	⑳ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	5	・常勤する看護師がいないため、医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っていない。
	㉑ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	1	・担当者会議の参加依頼があった際に、対応している。
	㉒ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3		・情報提供の依頼があった際に、対応している。
	㉓ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	1	
	㉔ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	5	・なかなか交流する機会がないが、公園や散歩等で障がいのない子どもと会った際は、仲良く遊べるように職員が間に入りながら支援している。
	㉕ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	1	・依頼があれば参加は可能である。
	㉖ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			
	㉗ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	7		・ペアレントトレーニングの支援を行っているわけではないが、保護者様から相談があった際には、その都度個別で対応している。
保護者への説明責任等	㉘ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		・契約時に説明を行っている。
	㉙ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		・その都度行っているが、相談したいことがあってもできない保護者の方もいるかもしれない。相談しやすい雰囲気作りや、児童・保護者の変化に気付けるように日頃のやり取りを丁寧にしていきたい。
	㉚ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	3	・見学開放日を設定しているが、コロナ禍になってから開催を自粛している。時期を見て、また見学開放日等の計画を立てる必要がある。
	㉛ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	3		・苦情が聞かれたことはないが、聞かれた際は、適切な対応を取りたい。
	㉜ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		・毎月放デイを利用されている児童へオアシスだよりを配布し、活動内容や行事予定を発信している。
	㉝ 個人情報に十分注意しているか	7	1		
	㉞ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		
	㉟ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	4	・実施する余裕がないため、難しいのが現状である。
非常時等の対応	㊱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		・火災、地震、水害、防犯、感染症対応マニュアルを策定している。
	㊲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・月に一度、火災、地震、水害、防犯を想定した訓練を行っている。
	㊳ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			・虐待防止検討委員会を設置し、3ヵ月ごとに虐待防止に関する研修や、虐待防止チェックシートを用いることで、虐待防止に努めている。
	㊴ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			・個別支援計画の作成、更新時に保護者様へ説明を行い、同意を得ている。また、虐待防止検討委員会の中で、身体拘束解除に向けた検討を行っている。
	㊵ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6	2	・医師の指示書はないが、アレルギーのある方は生活記録カードに記入していただいている。食事を提供することはないが、水分補給時の飲み物や行事でおやつ作りをする際には配慮させていただいている。
	㊶ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		・事例集はないが、アクシデント・ヒヤリハットが起きた際は、職員で再発防止に向けて支援の振り返りを行っている。